

# いじめアンケートより

6月は「いじめ対策強化月間」として、取り組みを進めました。その中の一つとして児童全員に「いじめアンケート」を実施し、一人一人と面談を行いました。

結果は、第1段階の「いじめられたと感じたものを幅広く把握したもの」、第2段階の「組織的・継続的に取り組む必要のあるもの」、第3段階の「安全が脅かされ重大な事態になる恐れのあるもの」の3つに分けて集約しました。第2段階については、11月の2回目のアンケートにより、継続していないかを確認することとしています。

認知人数	1年	2年	3年	4年	5年	6年	合計
男子	4	1	2	1	2	4	14
女子	1	2	2	2	5	0	12
学年別集計	5	3	4	3	7	4	26

一人の児童が数件の事象を訴えているため、認知件数は人数より多くなっています。児童がアンケートで伝えてくれたものに加え、担任等の聞き取りなどから分かったものも含まれます。

いじめの態様	件数
冷やかしかからかい・悪口や脅し文句、嫌なことを言われる。	15
仲間はずれ、集団による無視をされる。	3
軽くぶつかられたり、遊ぶふりしてたたかれたり、蹴られたりする。	5
ひどくぶつかられたりたたかれたり、蹴られたりする。	10
金品をたかられる。	2
金品を隠されたり、盗まれたり、壊されたり、捨てられたりする。	2
嫌なことや恥ずかしいこと、危険なことをされたり、させられたりする。	4
その他	3
合 計	44

今回のアンケートでは、第1段階で、44件の事象があがりました。一つ一つの事象について一人一人に寄り添いながら面談をし、話を聞きお互いに話し合う中で、すべての件数が解決しました。その後についても全教職員が共通理解を図り、継続的に経過を見ています。また、ご家庭とも相談させていただいたり、指導の経過を伝えさせていただいたりしました。軽い気持ちで言った言葉が引き金となって、相手を中傷してしまうことになったり、たたいてしまったりする事象に発展することがあります。相手を思いやり、互いに自分の考えや思いをきちんと伝えあうコミュニケーション能力や、自分勝手な思いを押しとどめ、一度立ち止まって考えてから行動に移す力が大切になります。個々の違いを認めつつ、相手の表情や様子から感じ取ったり、行動や言葉から相手の思いを考えたりする力がつくように、指導していきたいと考えています。

個性を大切にしながらも互いが居心地よく過ごし、それぞれの良さが認められ一層力を伸ばせる場になるように、教職員が一丸となって、教育活動を進めていきたいと思えます。保護者の皆様も子どもたちの様子に気を付けてみていただき、気になることがあれば学校までお知らせいただけるとありがたいです。

夏休み中に、普通教室、廊下のメンテナンス作業を行っていただきました。ゴムの跡やすみや絵の具のこぼして取れなくなった汚れなどきれいにしてもらった後、ワックスをかけていただきピカピカになりました。きれいなままの廊下を上手に歩き、掃除をし、いつまでもこの状態が保てるといいなあと思います。

夏休み中もゴーヤや万願寺甘とうはぐんぐん成長しました。

